

2013年6月7日

「概念を提示してケースを読み解く」

サイクル2：文化相対主義 主担当： 田所聖志

学習のポイント

文化相対主義 (cultural relativism)：価値は相対的であり。文化は優劣をつけて判断できない。文化相対主義は概念として不十分な点も含む。だが、この概念を批判的に使うことで理解できる現象があることもまた事実である。

この講義では、最初に私たちが「他者」の信念や振る舞い方をどのように評価するか考えてみる。次いで「自文化中心主義」と「文化相対主義」の二つの概念の基本的な考え方を説明する。次に、クラスで「文化相対主義」の考え方で捉えては不都合であるような現象があるかどうか考えてみよう。私たちは、「文化相対主義」の概念をどのように現実社会の理解に生かせるのか考えてみよう。

1. 私たちは「他者」の信念や振る舞い方をどのように評価するのか？

<写真教材>

「ピアスをした女性」(ニューギニア高地人)

「自民族中心主義」(ethnocentrism)

自文化の観点から他者の文化を評価すること。他者の文化よりも、自分の文化がより美しいとか、合理的であるとか、完璧であるとする概念。

2. 「文化相対主義」(cultural relativism)

「文化相対主義」

ある文化は、別の文化の価値観からでなく、その文化のもつ歴史や価値観にしたがって総合的に分析されるべきであるとする概念。

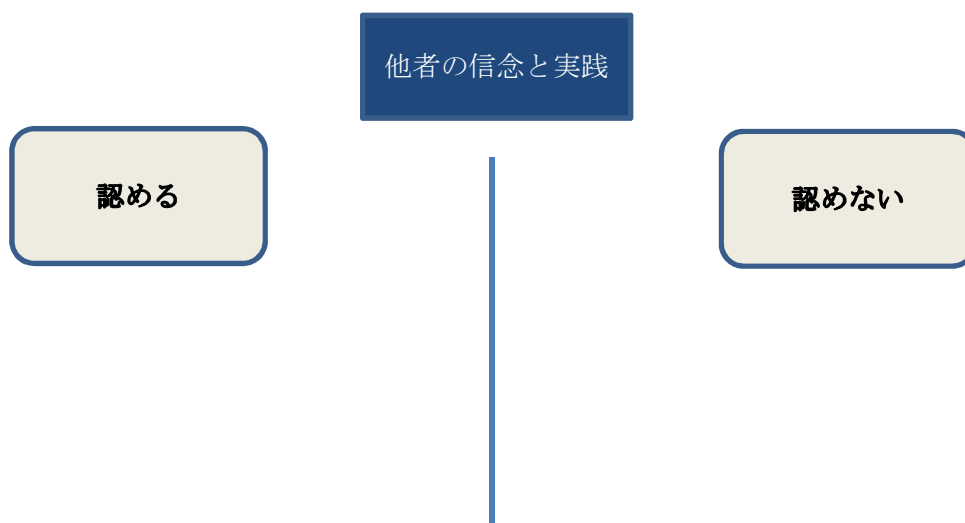
3. 文化相対主義の考え方で理解するには不都合だと考えらえる現象はあるだろうか？

■ 相対主義の欺瞞

< 事例 >

- ・ 傷をつけて身体の熱を冷ます (チャムス、ケニア)
- ・ 悲しみの首狩り (イロンゴット、フィリピン)
- ・ FGM / 女子割礼 (スーダンなど)
- ・ 悲しみの火傷 (カルリ、ニューギニア)
- ・ 異性の双子が生まれた場合の対処 (テワード、ニューギニア)
- ・ 間引き (日本)
- ・ 英語教育 (非英語圏のどこかの国)

4. 私たちは「他者」の信念と実践をどのように評価すべきなのか？



5. 次回への課題

あなたが国連組織の責任あるポジションにいるとして、以下のような「事柄」が世界で行われることを禁止するか、是認するか。「事柄」に関する事実関係を調べ、「自己の評価」と「他者の評価」を整理しなさい(1)。そのうえで、理由とともにあなたの判断を述べなさい(2)。あなたの判断は人類全体に影響する可能性があることに注意すること。(1)と(2)をそれぞれ1枚ずつのスライドにまとめ、5分程度で全体を説明できるようにしなさい。

「事柄」:たとえば、食人、抗生物質の使用、食物タブー、延命治療、胃ろう、戦争、代理母出産、出生前診断、うば捨て山、一夫多妻、精子バンク、酒、たばこ、サラリーマン、その他、自由に考えて良い。

- ・ 3人1組で4グループ。
- ・ 「おもしろい」発表。みんなを唸らせて。
- ・ 授業をふまえて、何を調べるか、何を検討するかをグループごとに話し合う。
- ・ よそのグループより優れたプレゼンテーションをする戦略を意識して。
- ・ みんなで採点・集計。客観的な評価を知る。戦略の練り直し。